

囲いわな・くくりわなによるエゾシカ捕獲業務

【事業概要】

業務場所：町営水上牧場、町有林

業務期間：令和5年5月15日～令和5年12月20日

業務内容

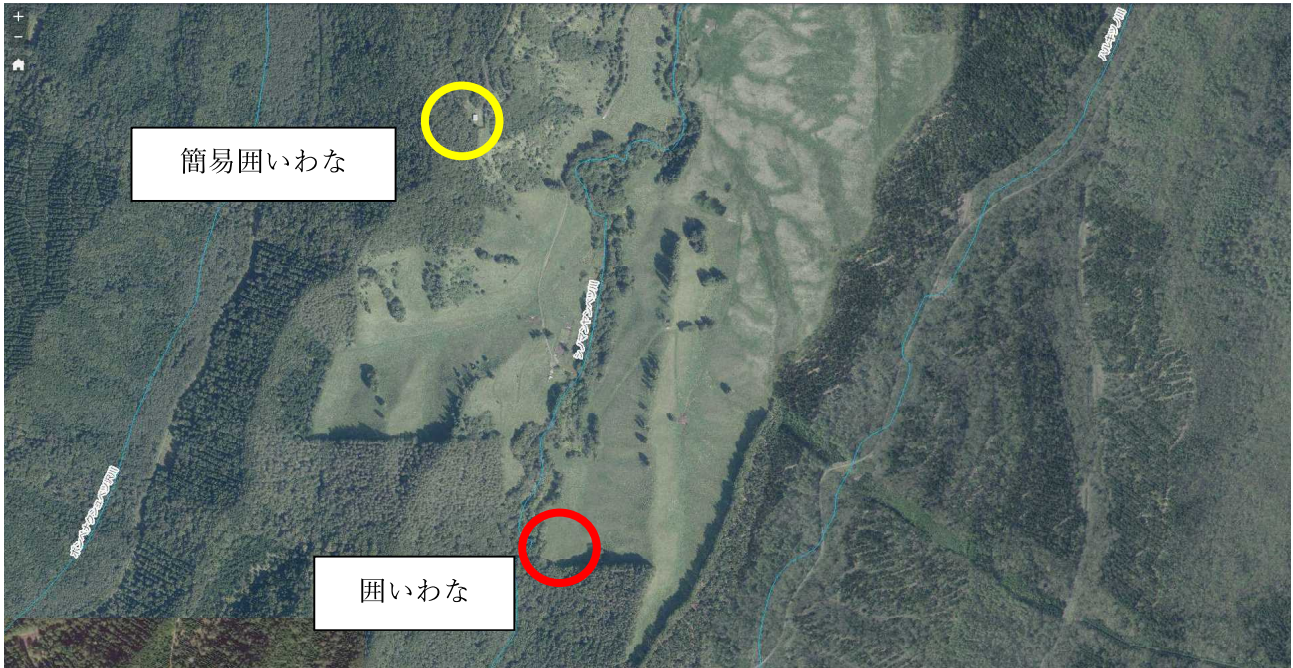
- ・ 囲いわな（2基）及びくくりわなによる捕獲を実施。 ※1基は簡易的なもの
- ・ 囲いわなはシーズンを通して実施。
- ・ くくりわなは放牧期間外に実施。
- ・ 囲いわなによる捕獲は生体搬出（知床エゾシカファーム）を基本とし、困難な場合は銃器による止め刺しを行い、町のごみ処理場へ搬入する。簡易囲いわなについては、設置場所が輸送困難な場所のため、銃器による止め刺しを行い、町ゴミ処理場へ搬入。

【捕獲結果】

	設置場所	メス	オス	不明	合計
囲いわな	水上牧場	6	2	—	8
簡易囲いわな	水上牧場	2	2	—	4
くくりわな	水上牧場	8	8	—	16
	水上町有林	13	0	1	14

【囲いわなによる捕獲】

- ・ 囲いわなについては、電波状況が悪いため、センサー式の自動捕獲装置「おりわなみはるちゃん！」を使用。
- ・ 簡易囲いわなについては、わな内部に仕掛けたけり糸にシカが接触することで扉が落下する仕組みとなっている。
- ・ 囲いわなの設置個所については、事前に生息状況調査を実施し、町営牧場の南側に流れる河川上の鹿侵入防止柵の破損部から侵入してくるシカをターゲットとして実施。囲いわなからシカ柵破損部までをポリエステルネットで囲い、わな内部へ誘導。
- ・ 簡易囲いわなについては、牧場西側の山林から侵入してくるシカをターゲットとしている。設置場所については、事前の生息状況調査から設置場所を選定。
- ・ 2基ともに5月15日より馴致開始。囲いわなは6月21日、簡易囲いわなは7月7日から捕獲開始。11月30日をもって捕獲終了。
- ・ 時期に応じて誘引餌を使用。えん麦、小麦種子、樹木の枝葉、市販のキューブ状の誘引餌を使用した。小麦種子を使用した翌日にヒグマがついたため即撤去。
- ・ 扉の動作不良（錆）等で3回（4頭）捕獲に失敗。



【くくりわなによる捕獲】

- ・放牧期間外（5月19日～5月27日）は水上町営牧場周辺にて実施。
- ・5月22日にメス成獣1頭錯誤捕獲。職員立会いのもと銃器による止め刺し。捕獲個体については委託業者で持ち帰り、翌日に検体採取し道総研へ送付。
- ・6月2日から水上地区の町有林にて捕獲を実施。
- ・6月5日にシカをヒグマに持ち去れたため、周辺のおなを一時停止。その後1週間程度様子を見るが、継続してヒグマが自動撮影カメラに映るため、設置場所を移動した。
- ・6月27日にシカが被食されていたため、全てのおなを一時停止。5日程度様子を見て、自動撮影カメラにヒグマが撮影されることはなかったため、被食されていた場所以外は捕獲再開。
- ・7月31日捕獲終了。



【課題等】

- ・通過式での捕獲のため、囲いわな本体が小さく目立ちやすいため、警戒心を抱かせている。
- ・別の侵入口がどんどん増えていく。
- ・広大な牧草地で餌が豊富なため、わな内部へピンポイントで誘引するのに苦慮。誘引餌を使用しているが、誘引効果は低い。